

2020年3月24日

(第1号議案)

平成31年・令和元年度(2019年度)事業報告

(平成31年4月1日—4月30日

令和元年5月1日—令和2年3月31日)

1. 総務関係

積年の活動が漸く成果に繋がり、目標であった会員総数100名の大台を突破して、個人102名、法人8社、合計で110名に到達した。これも、会員各位のご支援ご協力の賜物であり、深く感謝の意を表する。

ただし、上記の会員のうち会費を納付済の会員は3月25日現在個人会員が69名、法人維持会員は7名、合計76名であり、未納会員(個人32名、法人1名、計33名)へ直ちに会費納付を促す必要があった。

このため3月25日に未納会員全員へメールまたは文書郵送で督促したところ、3月31日までに個人会員9名、法人維持会員1名 合計10名から計60,000円の振込があったが、依然として、個人会員23名に計165,000円の未納がある。

これまでも会報Cantuta送付の際に、未納会員宛に個別に督促文書を同封し、それなりに効果があったが、今後とも、特に2年度を超える長期会費未納会員へ強く納入督促を行うとともに、なお、納付に応じただけない場合は会費細則に沿って退会手続を取らせていただくこととする。

2. 当協会主催事業

① ボリビア映画上映会:

2019年8月9日1800-2100、西麻布:ラテンアメリカサロン

昨年に引き続き、ボリビア・ウカマウ集団の作品『鳥の歌』を太田昌国氏の解説交えて上映し、終了後は同氏を囲んで軽食を摂りながら活発な質疑応答が交わされた。日中からの猛暑のため参加者への影響が心配されたが、大使館経由で急速冷房を手配して事なきを得た。会員・一般合計27名の参加があり盛況だった。

② ボリビア料理の集い

2019年9月27日 1400-1700 中央区築地社会教育会館

キヌアスープと肉料理チャレジーナに挑戦した。15名の予定で準備したのに対し残念ながらその半分の7名の参加に留まったが、全員で和気あいあいとボリビア料理作りを楽しむことができた。

③ X'Mas イベント

2019 年 12 月 5 日 1800-2100、銀座 5 丁目・サロン・ト・ジュリエ

長年に渡るボリビア在住から最近帰国した桑原健一氏に、「ボリビアの音楽と文化」と題しての講演を依頼し、併せて、同氏のグループ「東京リヤマ計画」トリオによるフォルクローレ演奏を楽しんだ。毎年この時期の開催を楽しみして参加される会員と一般の方々を併せて 37 名が参加し盛況であった。

④ 会報 Cantuta 発行

36 号（2019 年 6 月）37 号（同 10 月）38 号（同 12 月）39 号（2020 年 3 月）の年間 4 回発行した。会員への配布と共に、国内外のボリビア関係団体へも配布するほか、当協会主催・後援・協賛するイベントへの参加者へも配布した。

なお、2019 年 12 月発行の 38 号は「日本人移住 120 周年記念号」と銘打って、特別号を発行した。

⑤ ホームページでのタイムリーな情報提供

日本とボリビアの官公庁、マスコミ、民間団体などを発信元とするボリビア関係のニュースを広く収集しタイムリーに紹介する他、問い合わせにも対応している

具体的には、2019 年 10 月 20 日の大統領選挙の不正集計に端を発した大統領の辞任・亡命、2020 年 5 月 3 日の再選挙などボリビア国内の政治的緊張の高まりによる治安状態の悪化や、2020 年 1 月以降の中国・武漢市から始まったコロナ・ウイルスの世界的感染拡大にともなうボリビア側出入国時対応に関し、商用・観光・家族訪問などで、ボリビア訪問中や計画中の日本人・日系人・ボリビア人向けに注意を促す勧告を度々掲載するとともに、個別の照会にも対応している。

ボリビア関係の明るいニュースとしては、大相撲力士にボリビア・コチャバンバ出身で愛知県在住のダニエル・ペレス・ガルシア君（16 歳）が 1 月 19 日に朝日山部屋から新序出世として披露された。3 月の大阪場所から出場している。四股名は「煌 貴圭（きらめき・たかよし）182 cm、111 kg。

また、2 月 9 日の岐阜県羽島市で行われたテコンドーの東京オリンピック日本代表選考会で、ボリビア在住日本人鈴木健二氏の長男セルヒオ氏が 58 kg 級、次男リカルド氏が 68 kg 級代表に選ばれた。

なお、オリンピックで射撃・マラソン・水泳に出場する選手（10-12 名）のホストタウンについては、東京・墨田区が候補として名乗りを上げ、現在、日本とボリビア両政府と折衝中である。

なお、オリンピックはその後延期となったが、もし開催された場合は、日本選手とともにボリビア選手の活躍が期待される。

一方、ボリビアでは昨年来全国各地で大雨に見舞われている。2 月 23 日には昨年に続きコチャバンバで大雨によりタキニャ川が氾濫し、郊外チキパヤにあり当協会と繋がりのある身障者孤児施設「聖マルティンの家」も再び被害を受けた可能性があり現地に照会中である。

⑥ 2019 年度理事会・定時総会開催

2019 年 5 月 28 日、内幸町の米州開発銀行会議室で開催、前年度事業報告と収支決算承認、当年度事業計画と収支予算の報告、一部役員の交替による新役員の選任とその職務の議決承認を行った。

⑦ 日本人ボリビア移住 120 周年記念関係

椿会長が、上記記念式典にご臨席されることを主目的として 7 月 15 日～20 日にボリビアを公式訪問された眞子内親王殿下御一行の首席随員として、ボリビアを訪問し、7 月 17 日にサンタクルスで行われた記念式典にも参加した。

⑧ ボリビア訪問・交流

杉浦専務理事が、7 月 5 日～8 月 3 日にボリビア各地を訪問した。今回は⑦の式典に参加するとともに、サンタクルス、トリニダ、グアヤラメルイン、リベラルタ、ボルベニール、コビハ、ルレナバケ、サンブエナベントウーラ、コチャバンバ、スクレ、サンファン、オキナワの 12 の都市を訪れ、各地の日本人会で日系人・日本人・ボリビア人の方々と交流したほか、サンタクルスの日本国領事事務所や JICA ボリビア事務所を訪問して情報や意見交換を行った。ベニ、パンド、ラパス各県の地方都市では、日本への出稼ぎの機会を求める多くの日系人から相談を受けたが、現在、日本では三世までしか就労ビザが出ないということが大きな課題である。

3 他団体主催事業への後援・協賛など

① Festival de Camino a Latin Americano

2019 年 5 月 3～5 日 於：台場ウェスタンプロムナード

日本人ボリビア移住 120 周年記念イベントとして、会員の日本ラテンアメリカ文化交流協会が主催し当協会も後援。3 日間で約 20 万人が来場、当協会を含め 12 店が出店、ボリビアから来日した 20 名のフォルクローレ・バンド、アメリカから来日した約 50 名のボリビア人ダンスグループ、120 名からなる日本人シクリアーダグループの 3 グループが参加して、3 日間を通じて大盛況であった。

② 日本人ボリビア移住 120 周年記念、ボリビアの文化と社会紹介イベント

2019 年 9 月 8 日 於：すみだリバーサイドホール・ミニシアター

JICA ボリビア事務所主催 小原所長説明、椿会長講演、森下副会長、杉浦専務理事、永井常務理事、吉田事務局員参加

③ Bolivia Festival 2019: 2019 年 10 月 6 日 於：港区芝公園 23 号地広場

首都圏在住のボリビア人有志による実行委員会主催。

今年で 5 回目の開催となり、当協会も出店し例年同様に多数の在日ボリビア人、ラテンアメリカ人などの外国人、日系人、ボリビアファンの日本人などが参加し多彩なイベントとなった。天候が今一つだったが約 2500 人が参加。椿会長が挨拶した。

- ④ 日本人ボリビア移住 120 周年記念コンサート 2019 年 10 月 10 日
 於：信濃町・民音文化センター ボリビア・クラシックギタリスト・ピライ・バカ
 在日ボリビア大使館主催
 眞子内親王殿下、在京ラテンアメリカ大使館関係者、当協会役員・会員、在日ボリ
 ビア人など多数が参加した。
- ⑤ 10 月 24, 25 の両日、森下副会長が日本・ボリビア医療友好協会理事長として第
 14 回日本・ボリビア医学・消化器シンポジウムをサンタクルスで開催し、主催者
 として同シンポジウムに参加。
- ⑥ 日本人ボリビア移住 120 周年記念展示；「ボリビアに生きる・日系人の生活とその
 心」 2019 年 11 月 2 日ー2020 年 2 月 2 日、於：JICA 横浜海外移住資料館
 1899 年の移民開始から現在まで 120 年間にわたる日本人ボリビア移民の歴史を、
 年表・写真とともに、ラパス、オキナワ、サンファンなどの資料館から取り寄せら
 れた様々な物品類（移民の携行荷物・開拓期の農機具や現在の農産物、Fiesta での
 展示品など）が合わせて展示され参観者の関心を集めた。
 また、期間中の 11 月 17 日には JICA 日系研修で来日中のボリビア日系協会連合
 会事務局長の安仁屋滋氏による講演や、12 月 11 日ー16 日に大栈橋展示場で開催
 された JICA 主催・世界環境絵日記展にはサンファン移住地サンファン学園生徒の
 作品が展示され、注目された。

4 協会活動に関連し、協会として参加したイベント

- ① 2019 年 5 月 12 日 Bolivia Fiesta de Mama 於：川崎シンフォニーホール
 川崎市国際交流団体主催、川崎市・横浜市・湘南地区在住の在日ボリビア人が多
 数参加。杉浦専務理事参加
- ② 5 月 14、16、18 日 Los Kjarkas 国内ツアーコンサート 於：江東区ティアラこう
 とう等 杉浦専務理事参加
- ③ 5 月 24 日 会員・JOEL（猪岡愛佳氏）宝飾品展示会 於：大丸東京
 杉浦専務理事参加
- ④ 6 月 7 日 ラテンアメリカ協会連絡会 於：日比谷・同協会
 杉浦専務理事参加
- ⑤ 8 月 1 日 ボリビア独立記念日レセプション 於：ホテルオークラ
- ⑥ 8 月 25 日 東京リヤマ計画（桑原健一氏主宰）コンサート 於：神保町・楽屋
 杉浦専務理事参加
- ⑦ 10 月 1～3 日 第 60 回海外日系人大会 於：憲政記念会館
 椿会長（海外日系人協会専務理事）、杉浦専務理事、ボリビア人留学生 3 名参加
- ⑧ 11 月 25 日 ラテンアメリカ婦人協会主催バザール 於：東京プリンスホテル
 （本年は駐日ボリビア大使館出店せず）

- ⑨ 12月6日 ラテンアメリカ協会連絡会 於：日比谷・同協会
杉浦専務理事参加
- ⑩ 2020年1月13日 ボリビア研究会 於：東大駒場18号館
東京大学ラテンアメリカ研究会主催
2019年10月20日以降のボリビア政治情勢につき研究者が報告・質疑応答
時節がら関係者の関心高く100名を超える大盛況、杉浦専務理事参加
- ⑪ 2月8日 在日ラテンアメリカ人・心の健康講演会 於：東京医学技術専門学校
MAIKEN 主催 言葉の壁に悩む在日ラテンアメリカ人の心療相談に係る講演会
杉浦専務理事参加。
- ⑫ 2月11日 川崎市国際 Fiesta 於：川崎市幸市民会館
川崎市国際交流団体主催、川崎市・横浜市・湘南地区在住の在日ボリビア人が多
数参加。杉浦専務理事が参加
- ⑬ 2月22日 日本ボリビア友好協会年次総会 於：墨田区吾妻橋集会所
墨田区など東京下町地区在住在日ボリビア人主催の会。杉浦専務理事参加。駐日ボ
リビア大使館からホセ・バスケス臨時代理大使、休暇帰国中の JICA ボリビア事務
所小原学所長参加
- ⑭ 3月19日 杉浦専務理事が新駐日ボリビア多民族国大使館臨時代理大使イサベ
ル・ダレンツ氏を表敬訪問

5. その他

- ① 5月15日 杉浦専務理事が来日中のボリビア日系協会連合会前事務局長佐藤信寿
氏と情報・意見交換
- ② 9月20日 アイリヨン駐日臨時代理大使送別会 於：新橋木曽路
約3年の任期を終えて帰任されるに際し、協会からこれまでの協会活動への協力
への感謝の意を込めて昼食会を催し記念品を贈呈。執行グループ有志参加
(同氏は10月25日離日)
- ③ 10月6日 元当協会副会長 杉田房子氏 ご逝去 享年86歳
- ④ 2020年3月11日 椿会長、杉浦専務理事が伯耆田修新駐ボリビア大使と意見交換
於：JICA 横浜

以上

一般社団法人 日本ポリビア協会

貸借対照表

平成31年4月1日－令和2年3月31日

資 産 の 部		
現 金		0
預 金		2,711,481
資 産 合 計		2,711,481
負 債 の 部		
未 払 金		0
負 債 合 計		0
正 味 財 産 の 部		
正 味 財 産		2,711,481
（内当期正味財産増減）		131,290
負債及び正味財産合計		2,711,481

一般社団法人 日本ポリビア協会 財産目録 （令和2年3月31日）

資 産 の 部

現 金		0
預 金		2,711,481
三菱東京UFJ銀行	2,266,199	
ゆうちょ銀行	4,545,282	
資 産 合 計		2,711,481

負 債 の 部

未 払 金		0
負 債 合 計		0
正 味 財 産		2,711,481

一般社団法人 日本ポリビア協会 財産増減計算書

区分	期首残高	期末残高	増減
現金	0	0	0
預金 三菱東京UFJ銀行	2,283,079	2,266,199	△ 16,880
ゆうちょ銀行	297,112	445,282	148,170
預金小計	2,580,191	2,711,481	131,290
合 計	2,580,191	2,711,481	131,290

決算報告書 (2)

一般社団法人 日本ポリビア協会

令和元年度(2019)収支計算書

収入の部

平成31年4月1日ー令和2年3月31日

科 目	31年度予算額	令和元年度決算	増減額	決算額についての備考
会費収入	810,000	780,000	30,000	
個人会員	270,000	300,000	30,000	72 個人会員
維持会員	540,000	480,000	-60,000	7 維持会員
交流参加費	330,000	144,000	-186,000	会員・ゲスト参加費
雑収入	0	21	21	預金利息
収 入 合 計	1,140,000	924,021	-215,979	
前 期 繰 越 金	2,580,191	2,580,191	0	
収入の部合計	3,720,191	3,504,212	-215,979	

支出の部

科 目	31年度予算額	令和元年度決算	増減額	決算額についての備考
1. 管理費				
事務経費				
通信運搬費	30,000	21,931	-8,069	電話回線料・郵便料等
交通費	70,000	47,960	-22,040	杉浦専務理事・事務局長
事務管理費等	80,000	104,902	24,902	2018年度総会資料印刷費等
雑費	20,000	3,912	-16,088	振込料・執行部会議費
管理費合計	200,000	178,705	-21,295	
2. 事業費				
ホームページ維持管理費	120,000	27,610	-92,390	
支払負担金	125,000	151,405	26,405	移民120周年記念、他5件
交流会議費	600,000	342,609	-257,391	交流イベント3回費用等
カントウタ等発行費	150,000	92,402	-57,598	5回発行分
雑費				
事業費合計	995,000	614,026	-380,974	
3. 予備費				
予備費	100,000	0	-100,000	
支 出 合 計	1,295,000	792,731	-502,269	
次 期 繰 越 金	2,425,191	2,711,481	286,290	
支出の部合計	3,720,191	3,504,212	-215,979	

平成31年・令和元年(2019)年度監査報告書

一般社団法人日本ボリビア協会

会長 椿 秀洋殿

私たち監事は、当協会の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの平成31年度及び令和元年における日本ボリビア協会の活動について監査を行いました。その結果を一般社団法人及び一般財団法人に関する法律99条第1項（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律197条において準用する同法99条第1項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第64条において準用する同規則第36条及び第45条）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務について報告を受け、重要な決裁書類を閲覧し、当協会の業務及び財産の状況を調査しました。

上記の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行ない、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等に付いて監査しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実
は認められません。

(3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録などの監査

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和2年5月25日
4月19日


監事 千坂 平通 
監事 川林 正博 

2020年3月24日

(第2号議案)

令和2年〈2020年〉度事業計画

(令和2年4月1日~令和3年3月31日)

I 基本方針

- ① 日本・ボリビア両国の政府・民間企業による政治・外交・経済分野での活動と併行して、非営利ベースでの文化交流活動を通じて、両国一般市民間の相互理解・友好親善を積極的に促進し、両国関係の発展・強化を目指す。
- ② 官民関係先からの協力を得つつ、会員各位が上記方針実現に向け密接に連携して努力を積み重ねて行く。
- ③ 会員加入の「重点対象」として、日本の企業・団体、並びに女性・若者・シニア各層の個人に加え、在日の日系人・ボリビア人にも積極的に働き掛けて行く。
- ④ 目標としていた会員数100名を大きく突破した2020年3月末現在の会員総数110名（個人会員102名、法人維持会員8名）から、当2020年度もさらに着実に会員増加を目指す活動と併せて、遅滞ない会費納付への努力を継続する。

上記の基本方針に沿って、自主企画イベントを一層充実させるとともに、ボリビアに関心のある一般個人並びに関係団体との連携活動を活発化させ、併せて会報やホームページなどのソーシャルメディアを一段と整備して、交流活動を積極的に推進する。

II 具体的事業活動

① 自主企画イベントの充実

参加者に「楽しい、面白い、ボリビアのことをもっと知りたい、できればボリビアへ行ってみたい」と感じて貰えるようなエンターテインメント系イベントとして、ボリビアの「音楽・ダンス・料理・食材」などを主とした協会主催イベントを、年1~2回開催する。

併せて、一般市民の方々に「ボリビアの文化・社会をもっと知ってもらふ」ことができるように、ボリビアを含むアンデス関係の「音楽・映画・写真・絵画・文学・歴史・遺跡・料理・健康」などの文化ジャンルでのイベントを、ボリビア関係の他の団体・グループや個人、駐日ボリビア多民族国大使館、外務省中南米局、在日ラテンアメリカ関係組織・団体などとも連携して、年1~2回開催することとし、その予算を計上する。

また、自主企画イベントと連動したボリビア訪問旅行、文化・スポーツ活動などについて、旅行代理店や関係先ともタイアップした活動をできるだけ行う。

② 会報 Cantuta の充実

発行回数を引き続き年3~4回とするよう努力する。現地の政治・経済・社会・文化に関するホットなニュースや、歴史に関する寄稿をタイムリーに掲載するため、広く

情報を集め、寄稿者を募ることとする。さらにボリビア人・日系ボリビア人によるスペイン語記事も掲載して、対象者の層を広げる。

③ ホームページ（HP）の充実

会員のみならず非会員も対象としたボリビアに関する情報を幅広く収集し、当協会側からの情報発信を一層タイムリーに広く効果的に行う体制を整える。更新頻度の少なくとも月 1 回から数回への引き上げを目指し、読み易く有益なホームページの発信を目指すとともに、安全性向上のための SSL 化を検討し、担当役員と事務局の機能的な態勢を構築する。

④ ボリビア情報の提供体制の整備充実、

外務省中南米局、在ボリビア日本国大使館、駐日ボリビア多民族国大使館、JETRO、JICA、JICS やラテンアメリカ関係組織・団体などと連携して、ボリビアに興味や関心を持つ日本人個人・企業への、ボリビア文化・産品・観光、査証、安全、感染症などに関する情報を提供するとともに、日本の地方・中小企業向のボリビア関係ビジネス情報の提供を進め、ボリビアへの進出・投資の促進を支援する。

新型コロナウイルス蔓延による、日ボ両国での観光客の激減に対して、感染終息後には回復へ向けて相互に支援協力に努める。

⑤ 在日ボリビアコミュニティ間の交流促進への協力

在日のボリビア人・日系ボリビア人、ボリビア移住帰国者やその集住地域と連携し、各コミュニティの文化・スポーツイベントに積極的に参加して交流を深めるとともに、各コミュニティ間の相互間の交流促進にも協力する。この分野で毎年恒例となっている在日ボリビア人有志により、各集住地域で開催される **Bolivia Festival** や、**Chagas** 病の感染防止活動を行っている NPO 法人 **Maiken** による在日ボリビア人集住地への訪問集団検診に協力する。

⑥ ボリビアを含むラテンアメリカ関係団体との連携協力

ラテンアメリカ関係諸団体との相互情報共有を行い、関連団体との連携協力を行う。

⑦ 在ボリビア日系人社会と、在日ボリビア人社会との間の交流の維持発展促進

当協会役員・会員のボリビア訪問にあたり、便宜供与・情報提供などの側面支援を積極的に行い関係組織・団体や、各個人との友好親善関係の維持発展に努める。

⑧ 日本マスコミ・メディアのボリビア関係取材への協力

ボリビア関係情報の提供を通じて、ボリビアについての PR 広報を働きかけ、日本におけるボリビアの文化・社会・経済・政治への理解や認識の向上を図る。

以上

一般社団法人 日本ポリビア協会
収入の部

令和 2 年度予算
(令和2年4月1日—令和3年3月31日)

科 目	31年度予算額	令和元年度決算額	令和 2 年度予算額	備考
会費収入	810,000	780,000	780,000	前年決算と同額とした
個人会員	270,000	300,000	300,000	72 個人会員
維持会員	540,000	480,000	480,000	7 維持会員
交流参加費	330,000	144,000	330,000	個別計画の積算値とした
雑収入	0	21	0	
収 入 合 計	1,140,000	924,021	1,110,000	
前 期 繰 越 金	2,580,191	2,580,191	2,711,481	
収入の部合計	3,720,191	3,504,212	3,821,481	

支出の部

科 目	31年度予算額	令和元年度決算額	令和 2 年度予算額	備考
1. 管理費				
通信運搬地	30,000	21,931	30,000	
交通費	70,000	47,960	70,000	
事務管理費等	80,000	104,902	100,000	
雑費他	20,000	3,912	20,000	
管理費合計	200,000	178,705	220,000	前年予算と同額とした
2. 事業費				
ホームページ維持管理費	120,000	27,610	150,000	個別計画の積算値とした
支払負担金(友好親善)	125,000	151,405	100,000	120周年行事終了につき前年より減額した
交流会議費	600,000	342,609	550,000	個別計画の積算値とした
カントウタ発行費	150,000	92,402	150,000	前年予算と同額とした
事業費合計	995,000	614,026	950,000	
3. 予備費				
予備費	100,000	0	100,000	不測の事態に備え準備した
支 出 合 計	1,295,000	792,731	1,270,000	
次 期 繰 越 金	2,425,191	2,711,481	2,551,481	
支出の部合計	3,720,191	3,504,212	3,821,481	

令和2年(2020年)定時総会 役員改選

改選前 (出身)	改選	改選後 (定款21条)	協会役員 (定款22条)	理事職務分担 (定款23条)	執行GRP	前・現職 (HPへ掲載)	法人法役員
理事会長 椿 秀洋	理事 重任	代表理事	会長	会長	*	元ボリビア多民族国特命全権大使	代表理事
理事副会長 今村 志雄	理事 重任	代表理事	副会長	副会長		一般社団法人 日本海外協会会長	代表理事
理事副会長 森下 鉄夫	理事 重任	代表理事	副会長	副会長	*	特定非営利活動法人 日本ボリビア医療友好協会理事長	代表理事
専務理事 杉浦 篤	理事 重任	業務執行理事	専務理事	総務	*	元トヨタ自動車(株)勤務	業務執行理事
常務理事 長嶺 為泰	理事 重任	業務執行理事	常務理事	財務会計'(正)	*	WUB名誉会長	業務執行理事
常務理事 細萱 恵子	理事 重任	業務執行理事	常務理事	会報・HP	*	ODA コンサルタント	業務執行理事
常務理事 永井 和夫	理事 重任	業務執行理事	常務理事	イベント	*	特定非営利活動法人 国際農民参加型技術ネットワーク理事	業務執行理事
理事 大貫 良夫	理事 重任	理事	理事	外部団体渉外		東京大学名誉教授	理事
理事 細野 豊	理事 重任	理事	理事	外部団体渉外		一般社団法人 日本詩人クラブ顧問	理事
理事 嘉手苺義男 退任						(オリオンビール(株) 取締役会長)	
理事 椿 賢一郎	理事 重任	理事	理事	外部団体渉外		住友商事(株) 鉛・亜鉛事業部長	理事
理事 黒澤 啓	理事 重任	理事	理事	外部団体渉外		共立女子大学教授	理事
理事 田中 純一	理事 重任	理事	理事	外部団体渉外		(株)ラティエノ 代表取締役	理事
監事 千坂 平通	監事 重任	監事	監事			元JICA 勤務	監事
監事 小林 正博	監事 重任	監事	監事			元JICA 一般社団法人JBN 全国工務店協会事務局長	監事
事務局 吉田 憲司	理事 新任	理事	理事	財務会計'(副)	*	元JOCV	理事
事務局 大川 裕司	事務局員 重任	事務局員	事務局員	イベント	*	元JOCV LAフーズ代表	
顧問 白川 光徳	顧問 重任					元ボリビア多民族国特命全権大使	
相談役 渡邊 英樹	相談役 重任					西脇商事(有) 代表取締役	

平成31年・令和元年度 会員入退会報告

(平成31年4月1日—4月30日、
令和元年5月1日—令和2年3月31日)

前年度末(平成31年3月31日)

	個人会員	92名		維持(法人)会員	7名		合計	99名
当期入会	個人会員	12名	注①	維持(法人)会員	1名	注②	合計	13名
当期退会	個人会員	2名	注③	維持(法人)会員	0名		合計	2名
	純増	10名		純増	1名		純増	11名

当年度末(令和2年3月31日)

個人会員	102名	維持(法人)会員	8名	合計	110名
------	------	----------	----	----	------

注① 市村さと、藤原宏章 樋野寿 内藤大治 中村建哉 クエト真紗子
石崎オミド豊 大島正裕 井出国弘 片山恵子 清水嘉彦 早川泰史

注② 協和工業(株)

注③ 杉田房子(逝去)、チュキミア・ネストル(田中朝海)

以上